

2020年（令和2年）10月16日

各位

株式会社 プラコー
代表取締役社長 黒澤 秀男

当社株券等の大量買付行為への対応策に基づく
当社独立委員会への諮問事項に対する中間答申について

当社取締役会は、2020年9月17日に、同年6月25日開催の当社第60期定時株主総会の決議により承認を得て導入致しました当社株券等の大量買付行為への対応策（買収防衛策）（以下「本買収防衛策」といいます。）に基づき、当社独立委員会に、本買収防衛策に基づく対抗措置を発動することの是非等について諮問を行いました。本日、当社独立委員会から、共同して大量買付行為を行っている合理的な疑い等についての中間答申を受領致しましたことを、ご報告いたします。

なお、株主様より答申書全文（添付リストの匿名部分記載）交付をご希望をいただいた場合には、株主様ご本人確認のうえ、所定の手数料（郵送料実費）をいただきまして、当社より交付いたします。ご希望の株主様は、当社総務課までお問い合わせくださいようお願い申し上げます。

以上

2020年（令和2年）10月16日

株式会社プラコー取締役会 御中

株式会社プラコー独立委員会
委員 小幡 雅二

同 工藤 啓介

同 小沢 剛司

諮問事項に対する中間答申

当独立委員会は、株式会社プラコー（以下、「プラコー」といいます。）が導入しているプラコー株券等の大量買付行為への対応策（買収防衛策）（以下、「本買収防衛策」といいます。）に基づき、プラコー取締役会からの令和2年（2020年）9月17日付諮問を受けまして、下記の1に記載の諮問項目（1）～（3）について、下記の2に記載のとおり、本中間答申作成日現在の検討結果を答申いたします。

記

1. 諮問項目

- （1）有限会社フクジュコーポレーション（以下、「フクジュ」といいます。）及びその関係者（以下、総称して「フクジュら」といいます。）が共同して、本買収防衛策に定める「大量買付行為」を行っている合理的な疑いがあるとのプラコーの評価の妥当性の調査・検討及び評価
- （2）プラコーがフクジュらに対して、本買収防衛策に基づいて提供を要請している情報の十分性及び適切性の検討及び評価
- （3）フクジュらによる本買収防衛策に規定する手続の遵守の有無・その状況についての検討及び評価

2. 中間答申

- （1）フクジュらが共同して本買収防衛策に定める「大量買付行為」を行っている合理的な疑いがあるとのプラコーの評価には妥当性が認められる。
- （2）プラコーがフクジュらに対して、本買収防衛策に基づいて提供を要請している情報は、現在の状況を踏まえて、十分かつ適切なものであると認められる。
- （3）フクジュらは、本買収防衛策に規定する手続を遵守していない合理的な疑い

があると認められる。

3. 理由

当独立委員会は、プラコー取締役会からの諮問を受け、関連資料を精査しました。なかでも、フクジュが申立てた株主総会招集許可申立事件（さいたま地方裁判所令和2年（ヒ）第14号）において、プラコーからさいたま地方裁判所第3民事部非訟係及びフクジュに提出された主張書面及び疎明資料等によれば、フクジュが今回提案している取締役候補者のうち1名は、フクジュではなく株式会社和円商事（以下、「和円商事」といいます。）の代表取締役社長本多敏行氏（以下、「本多氏」といいます。）から新会社の社外取締役又は顧問に就任することについての打診を受けたもので、フクジュからの打診どころかフクジュの話を聞いたこともなければ、プラコーについて聞いたこともなかったということであり、この事実は、フクジュが和円商事及び本多氏と実質的に共同していなければ合理的に説明することが不可能であるといえます。また、2020年（令和2年）6月18日にフクジュが保有するプラコー株式の数が10万株減少し、同日、和円商事及び本多氏の関連会社である可能性が高い海容 JAPAN 株式会社がプラコー株式10万株を取得したことも、フクジュが和円商事及び本多氏らと実質的に共同していることを推認させる事実です。

これらの事実を踏まえると、フクジュが、和円商事及び本多氏らと実質的に共同して、本買収防衛策の廃止議案及び取締役全員の解任・フクジュら提案の取締役5人の選任を議案とする臨時株主総会の招集・開催を行い、プラコーの経営の支配権を取得しようとしていることが相当程度疑われると考えられます。

さらに、2020年（令和2年）10月8日に判明した臨時株主総会の基準日である同年9月30日時点でのプラコーの株主名簿によれば、上位30人の株主構成（別紙）において、過去に和円商事及び本多氏らのグループと共に、五洋インテックス株式会社（以下、「五洋インテックス」といいます。）及び北日本紡績株式会社（以下、「北日本紡績」といいます。）の支配権を取得した株主グループに属する者が新たにプラコーの株式を取得したことが認められます（同年9月30日時点でのプラコーの株主名簿左欄に「新」と記載した株主が新たに上位30人に含まれています）。

したがって、これらの事実を踏まえると、フクジュらが共同して「大量買付行為」を行っている合理的な疑いがあるとする取締役会の評価は妥当であると判断いたしました。

プラコー取締役会は、フクジュらによる「大量買付行為」が行われている合理的な疑いが生じたことを踏まえ、2020年（令和2年）8月31日付で、フクジュに対し「お問い合わせ」と題する書面を送付し（以下、「8月31日付質問状」といいます。）、本買収防衛策に基づき、大量買付者及びそのグループの詳細、大量買付者及びそのグループが保有するプラコー株式の数及び直近の取引状況、大量買付行

為の目的、方法及び内容、大量買付行為の価格の算定根拠の概要、大量買付行為の資金の裏付け、大量買付行為に際しての第三者との間における意思連絡の有無、意思連絡がある場合の内容及び当該第三者の概要、大量買付行為後のプラコーの経営方針等、大量買付行為後の従業員その他の利害関係者の処遇方針、他の株主との利益相反を回避するための具体的方策、投下資本の回収方針、並びに反社会的勢力ないしテロ関連組織との関連性の有無といった事項についての質問ないしは情報提供要請を行いました。

これらの質問ないしは情報提供要請の事項は、本買収防衛策において、大量買付者に対し提供を求めることとされている「本必要情報」と同一の内容であり、フクジュらが共同して「大量買付行為」を行っている合理的な疑いがあると考えられる状況下において、大量買付者と疑われるフクジュらに対して行う質問ないしは情報提供要請として、十分かつ適切なものであると認められます。

この8月31日付質問状に対して、フクジュは、令和2年9月14日付回答書（以下、「9月14日付回答書」といいます。）において、和円商事と実質的に共同して大量買付行為を行っていないと回答しています。

しかしながら、フクジュは、9月14日付回答書において、上記記載の事実関係について何ら具体的な反論を行っておらず、このようなフクジュの9月14日付回答書の内容は、フクジュが和円商事らと実質的に共同していることを否定するに足りるものとは評価できないと考えられます。

また、9月14日付回答書において、フクジュと和円商事らとは実質的に共同して大量買付行為を行っていないというフクジュの主張の形式的な理由として記載されているものは、フクジュは単独でも株主総会招集許可申立ての株式保有数及び保有期間の要件を満たすからという、株主総会招集許可申立ての形式的要件のみです。単独で形式的要件を満たすからといって、他者と共同しての大量買付行為が否定されるものではありませんから、和円商事及び本多氏らと実質的に共同して大量買付行為を行っていないというフクジュの説明は不十分であるといわざるをえません。

以上に照らせば、フクジュらが「大量買付行為」を行っている合理的な疑いがあるという評価を前提に、プラコー取締役会が本買収防衛策に基づいて実施した質問ないしは情報提供要請に対して、フクジュらは、「大量買付行為」について適切な情報を提供していないと認められ、本買収防衛策に規定する手続を遵守していない合理的な疑いがあると認められます。

なお、公表情報によれば、和円商事及び本多氏らが支配権を取得した北日本紡績及び五洋インテックスについては、経営状況に混乱が生じていることがうかがわれますので、今後和円商事及び本多氏らを含むフクジュらによる「大量買付行為」が、プラコーの企業価値及び会社の利益ひいては株主共同の利益に資するものであるか否かに関しての当独立委員会としての検討を行うに当たっては、これらの事情も勘案する必要があると考えております。

フクジュが開催しようとしている臨時株主総会の議案は、プラコーの全取締役の解任及び新たな取締役5名の選任というプラコーの支配権を取得する行為そのものであり、また、その取締役候補は、和円商事及び本多氏らの関係者であることから、当該臨時株主総会において株主の皆様にご判断を頂くためには、フクジュらに本買収防衛策を遵守させ、十分かつ適切な情報の早期の開示と説明を確保し、株主共同の利益を図る必要性があると考えられます。

したがいまして、当独立委員会は、上記のとおり、フクジュが和円商事らと実質的に共同して大量買付行為を行っている相当な疑いがあるとのプラコー取締役会の判断を支持し、当独立委員会として、フクジュらに対し、プラコーの8月31日付質問状に記載の各項目の早期の開示など、本買収防衛策に基づく手続を遵守するよう引き続き働きかけることを勧告いたします。

以上

2020年（令和2年）9月30日付株主名簿の抜粋（上位30名）

	株主名	保有株式数	議決権比率 (%)
1	有限会社 A 1 代表取締役 A 2	303,700	11.441
2	B	272,500	10.266
3	C 1 有限責任事業組合 組合員 C 2	205,900	7.757
4	株式会社 D 1 代表取締役 D 2	119,500	4.502
5	E	117,000	4.407
6	F	90,000	3.390
7	G	84,000	3.164
8	株式会社プラコー 代表取締役 黒澤 秀男	80,378	0.0 (自己株)
9	H 1 理事長 H 2	77,300	2.912
10	I 1 理事長 I 2	72,106	2.716
11	J	71,100	2.678
12	K	69,617	2.622
13	L 1 株式会社 代表取締役 L 2	67,500	2.543
14	M	59,294	2.233
15 (新)	N	52,000	1.959
16 (新)	有限責任事業組合 O 1 組合員 O 2 株式会社 職務執行者 O 3	50,800	1.913
17 (新)	株式会社 P 1 代表取締役 P 2	50,500	1.902
18	Q	38,626	1.455
19 (新)	R	30,000	1.130
19	有限会社 S 1 取締役 S 2	30,000	1.130

21	株式会社 T 1 代表取締役社長 T 2	27,100	1.020
22	U	26,400	0.994
23	V	21,900	0.825
23 (新)	合同会社 W 1 代表社員 W 2	21,900	0.825
25	X	16,351	0.616
26	Y	14,900	0.561
27	株式会社 Z 1 代表取締役社長 Z 2	13,000	0.489
28 (新)	a	12,400	0.467
29	b	12,300	0.463
29	株式会社 c 1 代表取締役 c 2	12,300	0.463

※下記7月31日付株主名簿では上位30位外だった株主に「(新)」を付した。

参考：比較検討用

2020年(令和2年)7月31日付株主名簿の抜粋(上位30名)

	株主名	保有株式数	議決権比率 (%)
1	有限会社 A 1 代表取締役 A 2	303,700	11.429
2	B	260,300	9.795
3	d 1 株式会社 代表執行役社長 d 2	177,500	6.679
4	E	173,200	6.517
5	F	122,800	4.621
6	株式会社 D 1 代表取締役 D 2	118,600	4.463
7	L 1 株式会社 代表取締役 L 2	100,000	3.763
8	C 1 有限責任事業組合 組合員 C 2	98,000	3.687
9	G	79,000	2.972
10	株式会社プラコー 代表取締役 黒澤 秀男	77,401	0.0 (自己株)

11	H 1 理事長 H 2	76,500	2.878
12	I 1 理事長 I 2	71,206	2.679
13	K	67,617	2.544
14	M	59,294	2.231
15	Q	37,726	1.419
16	J	30,100	1.132
17	有限会社 S 1 取締役 S 2	30,000	1.128
18	株式会社 T 1 代表取締役社長 T 2	28,000	1.053
19	U	26,400	0.993
20	d 1 株式会社 取締役社長 d 2	20,500	0.771
21	V	18,100	0.681
22	X	16,151	0.607
23	Y	14,900	0.560
24	株式会社 e 1 代表取締役 e 2	13,800	0.519
25	株式会社 f 1 代表取締役会長 f 2	12,800	0.481
26	g	12,700	0.477
27	株式会社 c 1 代表取締役 c 2	12,300	0.462
27	b	12,300	0.462
29	株式会社 Z 1 代表取締役社長 Z 2	12,000	0.451
29	h 1 株式会社 代表取締役社長 h 2	12,000	0.451

2020年（令和2年）3月31日付株主名簿の抜粋（上位10名）

（定時株主総会招集通知記載：自己株式を除く）

	株主名	保有株式数	持株比率（%）
1	有限会社フクジュコーポレーション 代表取締役 井手 和成	403,700	14.76
2	FUBON SECURITIES CO., LTD A/C GLOBAL	335,500	12.27

3	西村 治彦	181,700	6.64
4	松浦 健	135,500	4.95
5	株式会社和円商事 代表取締役 本多 敏行	105,300	3.85
6	安本 匡宏	95,000	3.47
7	プラコー共栄会 理事長 櫻井 敏昭	74,400	2.72
8	プラコー従業員持株会 理事長 平塚 義久	64,806	2.37
9	黒澤 秀男	63,317	2.31
10	秦 範男	59,294	2.16

以上